

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	タートル				公表日	2025年 5月 1日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5	0	着替えのスペースや廊下などを有効利用するなど工夫して活動しています。	その日の利用人数によって部屋の活動内容を決めスペースの有効利用ができるように努めている。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5	0	個別での対応、集団での取り組みに合わせて職員を配置し常に1対1以上となるような配置となっています。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5	0	棚やタオル掛け椅子など本児が使用する場所には名前や絵シールを貼り分かりやすいようにしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	0	トイレ・洗面は使用ごとに消毒を行っている。冷暖房は湿度、室温に合わせて温度調整を行っている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3	2	個別の部屋はありませんが、パーティションで外部からの刺激を和らげるように配慮しています。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5	0	目標設定と振り返りは日々行い、業務改善に繋げています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	今後も自己評価表をもとに改善していくこと、保護者の方に分かりやすく改善内容を伝えていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎月の職員会議で意見交換の場を設け、業務改善につなげています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5	0	第三者委員会の設置をしています。	今後も外部評価を含めより良い意見が頂けるように改善していきたい。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	半年に一回の研修を実施し、外部の研修へも参加しています。	今後も積極的に参加していきたい。
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	支援プログラムを作成し、自社ホームページにて公表しています。	適切な支援プログラムとなるよう、定期的な見直しを行っていきたい。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5	0	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題をもとに支援計画を作成しています。	定期的にあセスメントの更新を行うこと、保護者に対する説明を今後も行っていく
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	少なくとも半年に一回のモニタリングを行いそれをもとに話し合いの場を設け共通理解と本児とその家族にとって最善の利益となるように計画を立てています。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	定期的なモニタリングを行い、見直しが必要なときはその都度話し合いを行っています	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	アセスメントツールを使用して、適応行動の確認をしている	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	「本人支援」「家族支援」「移行支援」「地域支援」に関する支援内容を具体的に設定するよう心掛けています。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	職員が交代で週の立案を行い意見交換をしながらその日の活動プログラムをきめている	職員会議等で新しい取り組みを話し合う機会を増やしていきたい
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	立案者が固定しないようにすることで、様々な活動プログラムになるよう工夫しています。	職員会議等で新しい取り組みを話し合う機会を増やしていきたい

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動での支援目標の作成はもちろん、地域に移行していく中で集団活動での目標を設定し支援計画を作成しています	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5	0	朝礼時に打ち合わせ、役割分担の確認をしている。	天候、利用状況によって支援内容が変更となる場合にも対応できるようにしていく
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	送迎時の申し送り等の報告をし、その日の振り返りを行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	実績記録をとることを徹底、日々ミーティングの実施をしている。	実績記録は全職員、必ず目を通すよう心掛ける
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	定期的にモニタリングの実施、見直しをし、判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	会議の前に支援会議を行い、現在の状況をよく理解したうえで児童発達支援管理責任者が参画しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	契約時に連携して支援を行うべき機関の名前を保護者同意の上、契約書に記入しています	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	契約時に連携して支援を行うべき機関の名前を保護者同意の上、契約書に記入しています。それ以外にも必要があれば保護者同意の上、追記していきます。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	0	申し送り書の作成や電話での情報共有を行っています	今後も情報共有と相互理解に積極的に努めていきます
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	0	発達支援センターで年に数回ではあるが研修を受けています。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	0	5		機会があれば参加したいと思っています
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時や連絡帳などでその日の様子を伝え、今後の課題について話す機会を設けている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3	2	事業所での取り組み方や成功例を伝え、ご家庭での支援の参考となるよう努めています。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明させて頂いています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	契約、懇談時に本児、保護者のニーズを確認して現在優先して行う支援を考慮し児童発達支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5	0	同意を得てサインを頂いています。	場合により送迎時に伝えることもあるので、確認が不十分にならないようにしていきたいと思っています。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	定期的に懇談を行い、それに加え適宜相談に応じている。	保護者の悩みごとの本質を理解し必要な助言や支援ができるよう心掛けています

保護者への説明等	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	0	5		保護者の意見を伺い必要に応じて開催していきたい
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	相談窓口を設けています	今後も保護者、子どもからの相談に迅速かつ適切に対応できるようにしていきたい
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5	0	行事予定、活動内容等は随時、書面で保護者の方にお伝えしている。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	個人情報の提供に係る同意書を作成し保護者同意の上情報の取り扱いを行っている	他機関との連携、情報共有時には必ず保護者の同意を得ることを今後も注意していく
	43	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	他国籍の方には連絡帳やお便りをルビ表示や平仮名で対応している	児童との意思疎通は今後も様々な方法で行っていきたい
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5		今後、検討していきます。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等の作成して職員に周知し訓練を行っています	非常時の職員の役割を確認し迅速に行動できるよう訓練を行う
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	業務継続計画（BCP）を策定し研修、訓練を行っています。	非常時の職員の役割を確認し迅速に行動できるよう訓練を行う
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5	0	契約時に確認し、予防接種等は実施したときに報告を頂いています。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5	0		現在食物アレルギーのある子どもの利用はないが、保護者を通して医師の指示書に基づく対応をしています
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5	0	安全計画の作成、必要な研修その他必要な措置を講じています。	
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	2	3	契約時に避難所の確認、避難順路を伝えています。	
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5	0	会議で話し合いの場を設け改善点を話し合っている	事例の大小に関わらず作成の有無を確認し作成を行ってきたい
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	少なくとも年2回の社内研修を確保している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5	0	やむを得ず身体拘束を行うかについて職員間で話し合い、必要とあれば児童、保護者に説明し了承を得た上で計画書に記載している		